

# 県南市町村議会 緊急集会開催!!

昨年の12月19日、白河市東文化センターに於て、県南9市町村長及び市町村議会議員が終結し、「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う賠償指針の対象区域見直しを求める緊急集会」を開催しました。



緊急集会の様子

これは12月6日に文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会が示した賠償指針において、その賠償の対象区域から、西白河地方及び東白川地方並びに会津地方、南会津地方の26市

町村が除外されたことに対し、福島県知事を筆頭に関係市町村長などにより、県内全域を賠償区域とするよう強く求める統一行動が実施されるため、これを支援する緊急集会として開催されました。



集会では国及び文部科学省に対し、福島県全域を賠償の対象とするよう強く求めていく要望書を採択し、12月22日の国や文部科学省への賠償指針見直しを求める抗議活動への後押しを行いました。

## 表紙の一言

爽やかな笑顔で久しぶりの再会を喜び合う成人式の参加者達。一人ひとりが素敵な人生を歩んでいてほしいと心から願っております。

## 若い視点(第7回)



こくぶん たかのり  
**國分 卓周**さん  
29歳・会社員  
(弥栄在住)

- Q 矢吹町の良い所は？
- A 口の悪い家族と友達がいる(笑)、交通の便が良い所。
- Q 不満に思っている所は？
- A 活気に欠ける所。
- Q どんな町になってほしいですか？
- A 職場の確保と、虫がたくさん住める様な水のきれいな町。
- Q 今、熱中していることは何ですか？
- A スノーボードとその後の爽やかな筋肉痛。
- Q 議会への要望があれば聞かせて下さい。
- A 町の長期目標となるようなスローガンが欲しい。
- Q 将来の目標や夢を教えてください。
- A 80歳まで歯20本維持。

## 編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、東日本大震災、原発事故は福島県の自然豊かな台地をむしばみ県民に苦痛を与えています。現在も七十五万人以上が避難し、そのうち六万人以上が県外に避難しています。県民は放射能の不安にさらされています。東日本大震災

災の被災者のことを考えればおめでとうとばかりは言っておれません。「徹底した除せん全面賠償、原発ゼロ」は町民の願い、全県民の願いでもあります。

幸い町民の安全安心のために東日本大震災、並びに原子力発電所の事故に関する調査特別委員会が議会に設置されました。矢吹町が夢と希望に満ちた町になるよう全議員一丸となって取り組む2012年の幕開けです。さて、議会広報委員も今号をもって任期満了となります。この二年間のご愛読に心から感謝申し上げます。最後に町民皆様のご多幸と矢吹町のさらなる発展をご祈念申し上げます。(文責 榎本)

- 委員長 大木 義正
- 副委員長 榎本 良一
- 委員 藤井 精七
- 熊田 宏
- 諸根 重男
- 根本 信雄

## ぜひ、議会の傍聴を!!

3月定例会は  
**3月2日(金) 午前10時開催予定**  
一般質問は  
**3月5日(月)・6日(火)の予定**  
詳しくは町議会事務局(☎42-2118)にお問い合わせ下さい。